事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

ﾌﾘｶﾞﾅ	●●●●	男 (女)	要介護１	移動	■独歩 □歩行器 □杖歩行 □車椅子
本人氏名	●●●● 様	89 歳			□その他（ ）
報告者	●●●●		発生(発見)日時	平成28年05月09日(月) 22:10 分頃	

場所

■居室 □ﾎｰﾙ □浴室 □ﾄｲﾚ □拠点ﾌﾛｱ □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内
□その他（ ）

状況

□転倒 ■転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □ﾄﾗﾌﾞﾙ □単独外出 □介護中 □不明
□その他（ ）

ダリヤ室の中から物が落ちるような音が聞こえ訪室すると、●●氏が壁に背を向けて床に座っている。声を掛けると「いやー、びっくりした。起きようと思ったら落ちてしまった。」と、とても驚いた様子で話される。靴は履いておらず、布団はベッドに乗ったままであった。

【施設内報告】
①5月10日7:40 ●●主任援助員よりスーパーバイザーへ、事故の詳細を報告する。
②5月10日9:00 ●●主任援助員より副施設長へ、電話にて事故の詳細を報告する。
③5月10日10:40 ●●主任援助員より施設長へ、事故の詳細を報告する。
④5月12日12:00 ●●援助係長より●●援助課長へ、事故の詳細を報告する。

症状

■無傷 □表皮剥離 □擦過 □切傷 □内出血 □火傷 □腫れ □変色 □熱感
□その他（ ）

部位：臀部

トイレにて身体観察行う。腫れ・変色無く痛みの訴えも特に無し。その後も朝まで変わりなく経過される。

対応

■様子観察 □湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 □止血 □受診 □その他（ ）

事故直後、ご本人よりトイレの訴えあり。靴を履いて頂きベッドに掴まりながら自力で立ち上がる。歩行状態も特に変わりないも、念の為付き添う。ベッド頭両側にサイドレールを設置させて頂き様子を見る。

ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ	体温	36.9 ℃	血圧	100 ／ 54 mmHg	脈拍	67 回/分	SPO2	%	計測時間	22：40

要因・原因

□見守り不足 □知識・技術不足 □ﾙｰﾙ不遵守 □情報不足 □環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題
■その他（ ）

・身体能力は特に問題なく、日中・夜間共に自立の方である為、夜間も特に介助の必要性はなかった。
・ベッドにサイドレールは使用していなかった為、寝返りを打った際に転落したと考えられる。

事故防止対策

・ベッド頭両側にサイドレールを設置する。

ｶﾝﾌｧﾚﾝｽの必要性について：■不要 □必要

家族への説明

平成28年05月10日(火)	説明方法	□面会 ■電話	説明職員	●●●●
家族氏名	●●●●様		続柄	長女

電話にて昨夜のベッドからの転落された件と、その後の様子をお伝えし、今現在の様子もお話しし謝罪する。また、事故直後よりベッド頭両側にサイドレールを設置して様子を見ている件も併せてお伝えする。●●様より「わざわざありがとうございます、よろしくお願いします。」と返答頂く。